

奈良市在宅医療介護連携支援センターの 歩みとこれから

第30回全国医師会共同利用施設総会

奈良市医師会副会長

奈良市在宅医療介護連携支援センター長

山崎 政直

第30回全国医師会共同利用施設総会

COI開示

演者氏名 山崎 政直

演題発表に関連し、開示すべきCOI関係にある
企業等はありません。

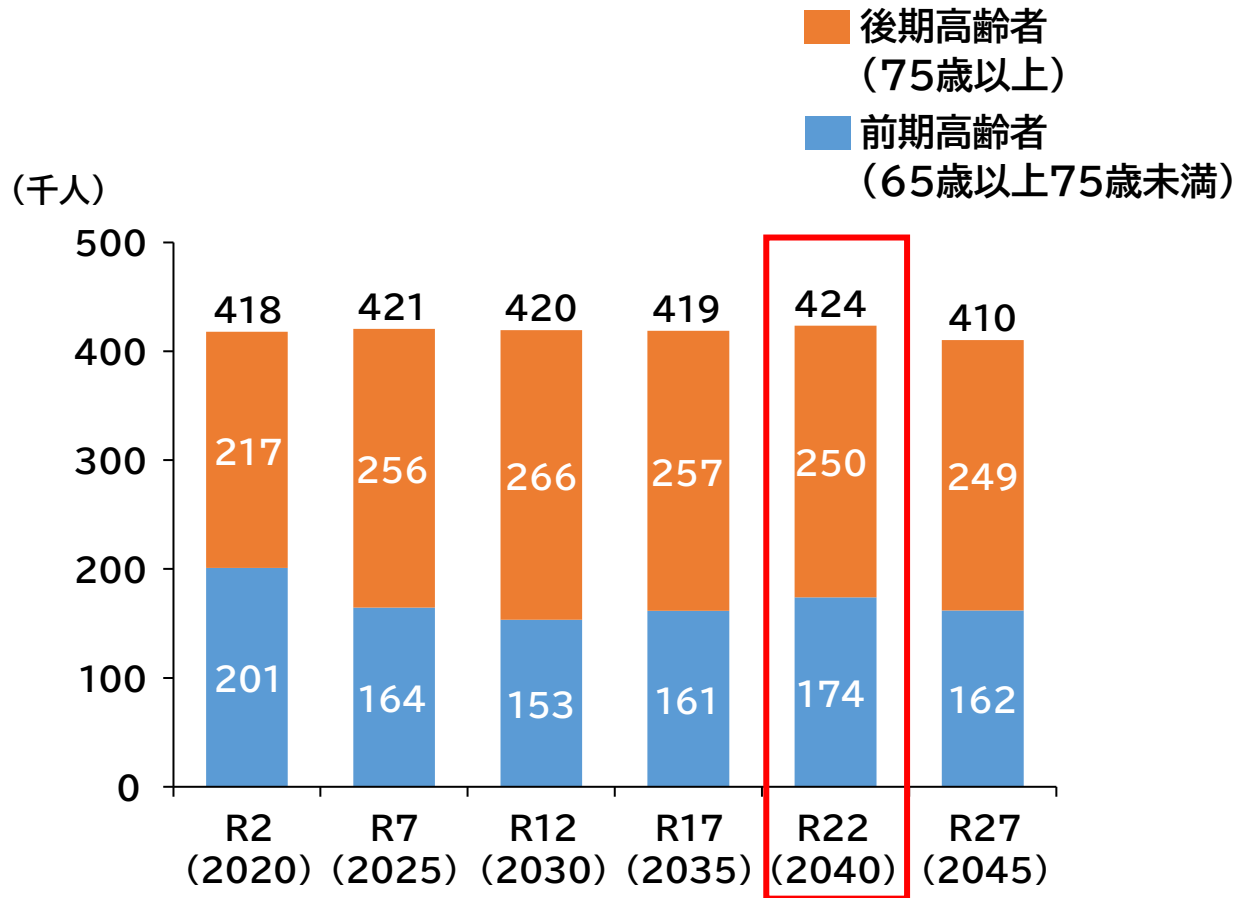
- **今後の奈良県の人口動態予想**
(県内高齢者の現況も含め)

- **奈良市在宅医療介護連携支援センターについて**

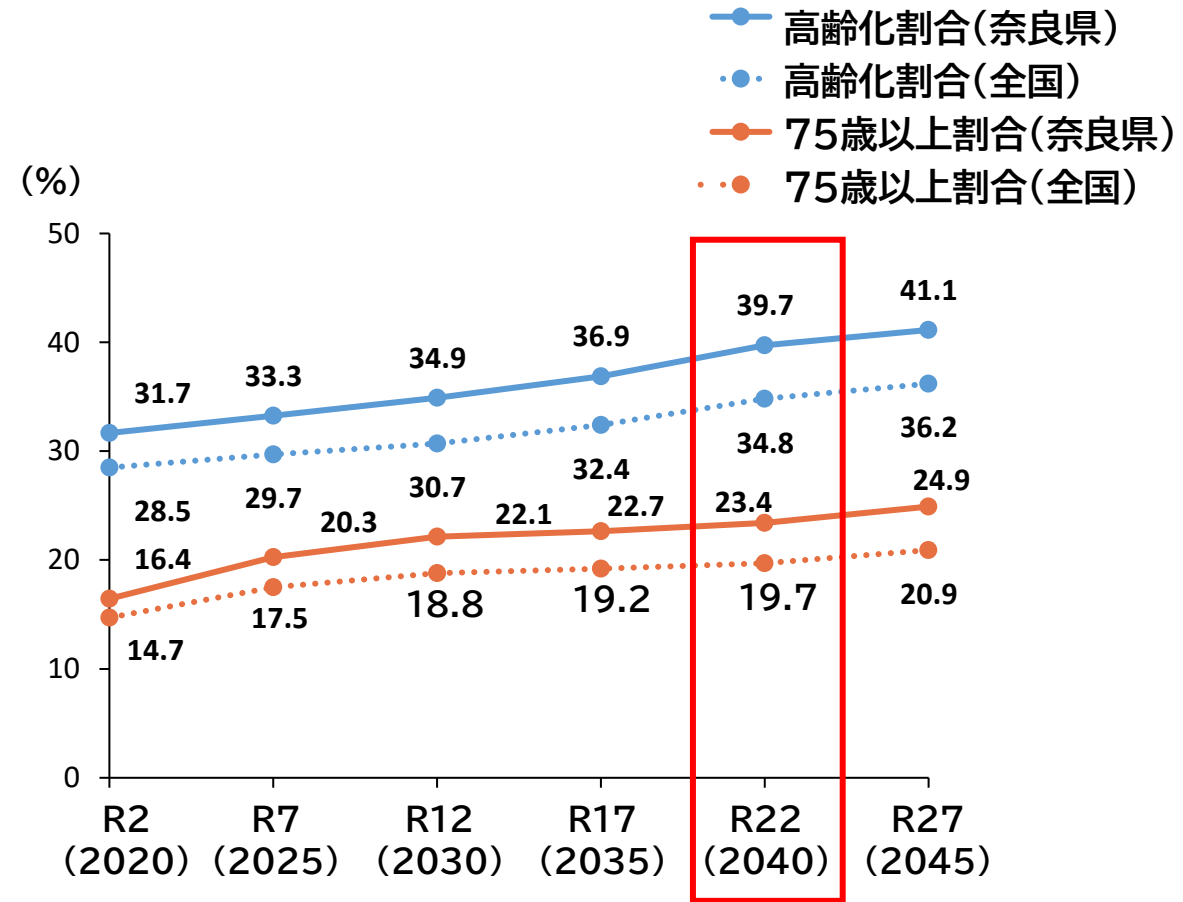
- **今後の奈良県の人口動態予想
(県内高齢者の現況も含め)**
- 奈良市在宅医療介護連携支援センターについて

今後の奈良県の人口動態予想

高齢者人口の推移(奈良県)

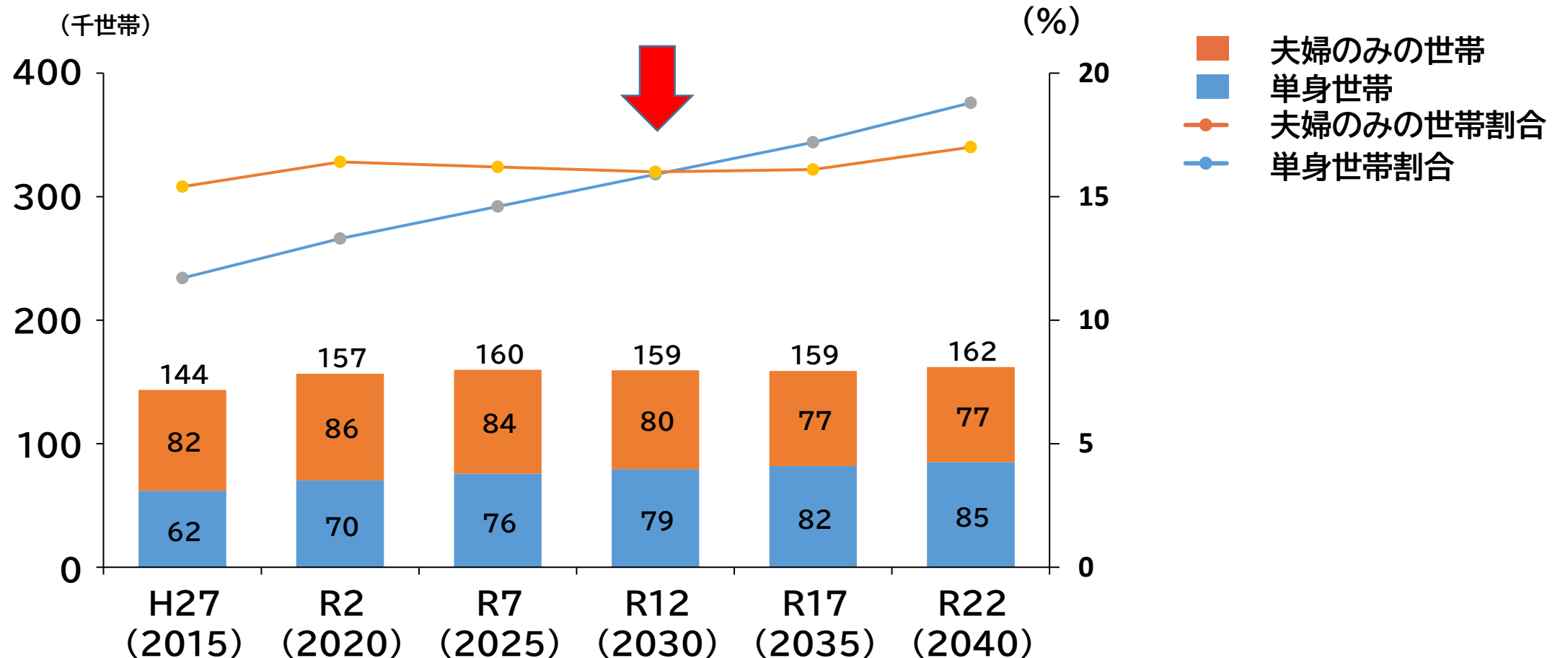


高齢化割合の推移 (奈良県および全国)



今後の奈良県の人口動態予想

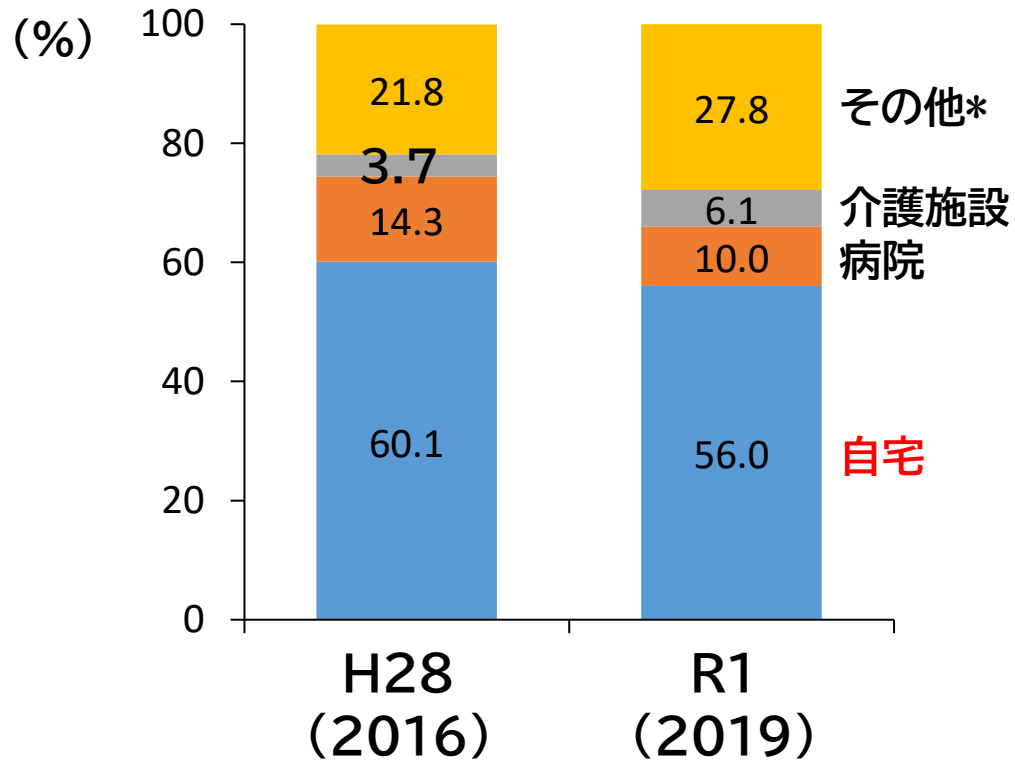
高齢者世帯数推移および将来推計(奈良県)



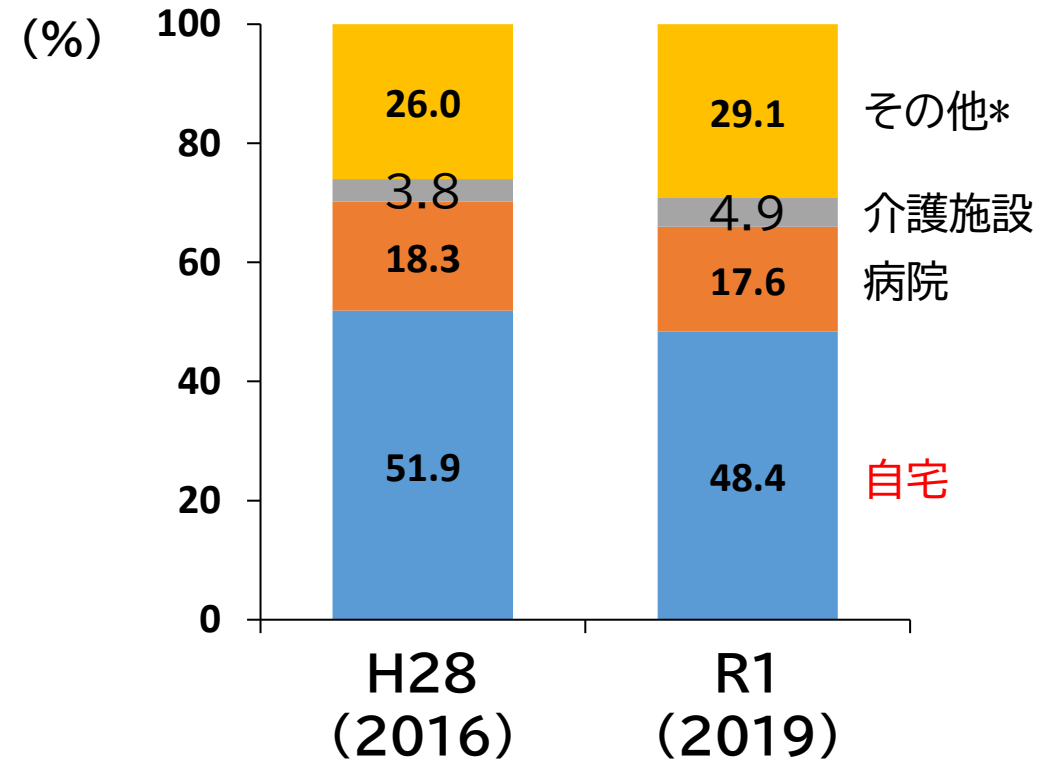
県内高齢者の現況

最期を迎えたい場所

要介護認定者またはその家族



65才以上の未要介護認定者



県内高齢者の現況

在宅支援診療所数及び自宅死の割合(奈良県)

	人口	うち65歳以上	在宅療養支援診療所	うち機能強化型(単独)	うち機能強化型(連携)	うち従来型	訪問看護ステーション	自宅死の割合	老人ホーム死の割合
市区町村	(人)	(人)	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	(施設)	(%)	(%)
奈良県計	1331087	418566	168	2	32	134	167	17.2	9.92
奈良市	351010	110503	42	0	11	31	48	19.6	9.9
大和高田市	63122	19994	4	0	2	2	15	18.3	11.1
大和郡山市	84444	27776	10	0	6	4	16	18.1	7.3
天理市	63157	17034	8	1	0	7	7	18.9	11.8
橿原市	120309	34662	20	0	1	19	16	17.9	8
桜井市	55627	17593	13	0	4	9	6	23.5	11.4
五條市	28973	10980	4	0	2	2	3	23.1	8.7
御所市	24710	10137	8	0	1	7	4	13.9	8.5
生駒市	117603	33656	13	0	0	13	17	19.6	10.4
香芝市	78596	18447	11	0	0	11	5	17.4	8.6
葛城市	37144	10384	4	0	0	4	1	13.6	14.4
宇陀市	28920	12097	2	0	1	1	3	15.8	19.1

第8次奈良県保健医療計画（R6～R11）

5疾病（がん、脳卒中、心血管疾患、糖尿病、精神疾患）

6事業（救急、災害、新興感染症、へき地、周産期、小児）

在宅医療

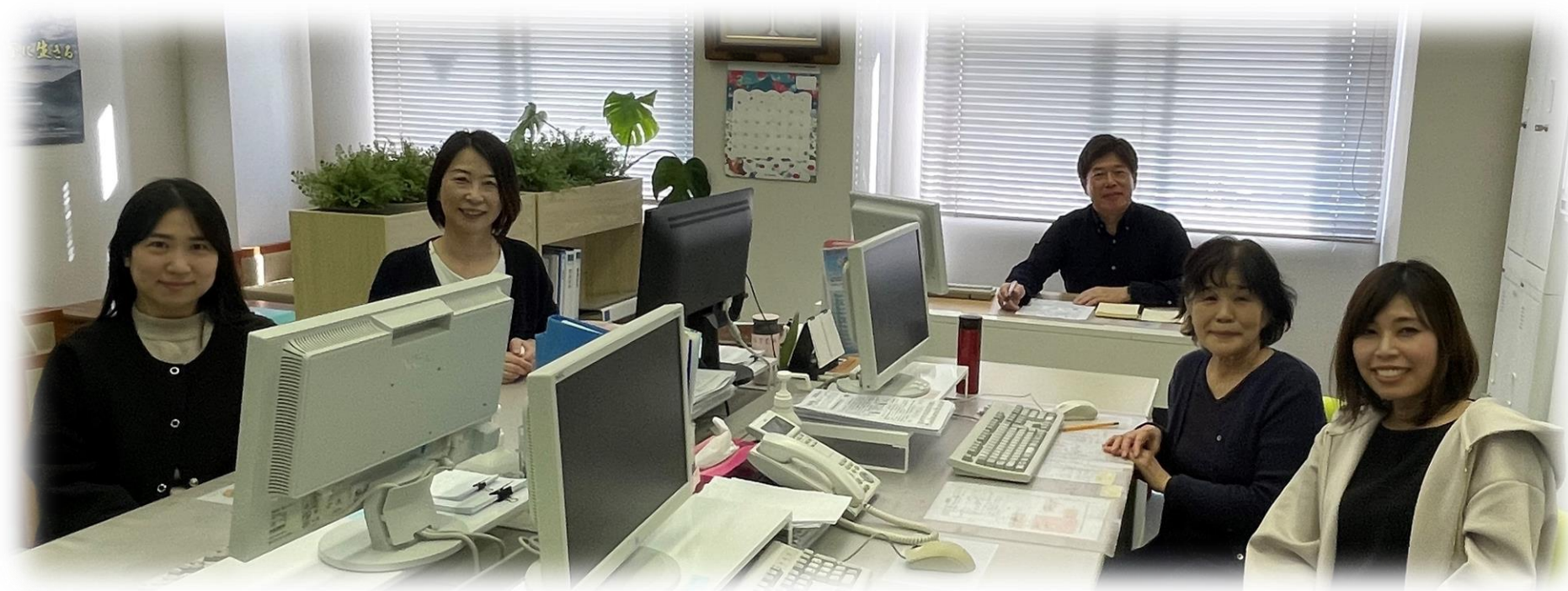
- ・ 在宅医療の提供体制
- ・ 急変時・看取り、災害時等における整備体制
- ・ 在宅医療における各職種の間わり

- 今後の奈良県の人口動態予想
(県内高齢者の現況も含め)
- **奈良市在宅医療介護連携支援センターの事業報告**

奈良市在宅医療 介護連携支援センター

2018年より奈良市の委託を受ける形で開設

保健師 1名、社会福祉士 1名、
主任介護支援専門員 1名、事務員 1名



奈良市在宅医療介護連携支援センターの業務

- 1、 医療 ・ 介護連携に関する情報収集、課題把握、
施策の企画立案及び周知
- 2、 在宅医療 ・ 介護連携に関する相談支援、情報提供
- 3、 在宅医療 ・ 介護に関する地域住民への普及啓発
- 4、 医療 ・ 介護関係者への情報共有の支援や研修会の開催

1、医療・介護連携に関する情報収集、課題把握、施策の企画立案及び周知

1) 医師会員、病院、訪問看護ステーション、介護事業所など情報収集

→ 奈良市医師会員への在宅医療に関するアンケート調査

2) 各種連携会議への参加

→ 第一層連携会議（福祉政策課、基幹型包括、地区社協など）
その他会議（詳細は4）

3) 業務運営委員会（月1回）

4) 在宅医療の普及、支援の検討

→ 看取りの支援体制構築に対する検討、在宅栄養指導の検討

2、在宅医療・介護連携に関する相談支援、情報提供

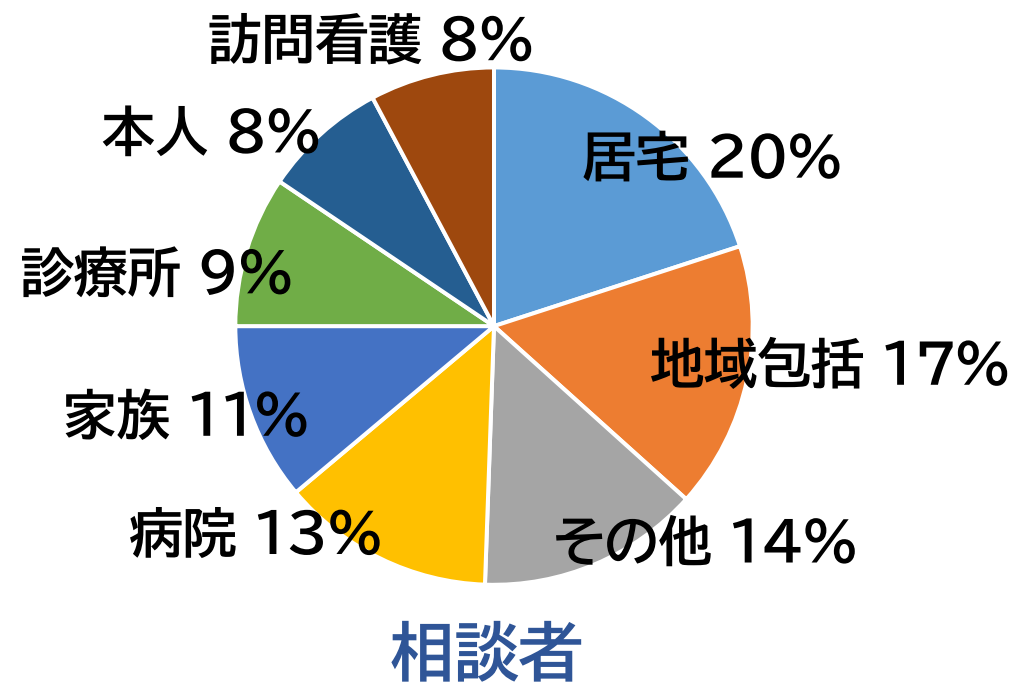
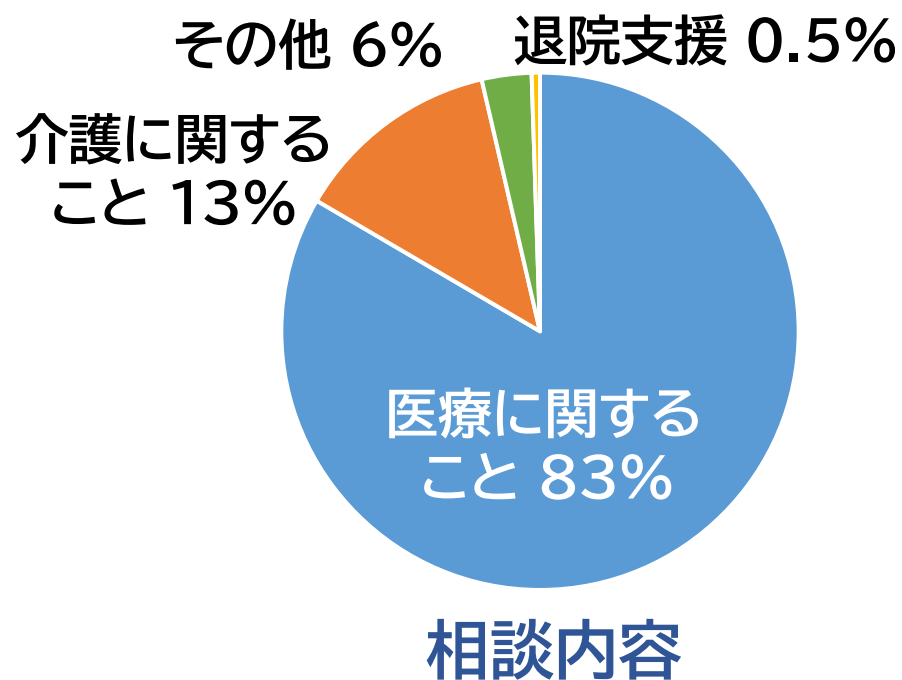
3、在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発

4、医療・介護関係者への情報共有の支援や研修会の開催

1、医療・介護連携に関する情報収集、課題把握、施策の企画立案及び周知

2、在宅医療・介護連携に関する相談支援、情報提供

電話相談件数 令和4年度 281件（昨年 193件）



3、在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発

4、医療・介護関係者への情報共有の支援や研修会の開催

1、医療・介護連携に関する情報収集、課題把握、施策の企画立案及び周知

2、在宅医療・介護連携に関する相談支援、情報提供

3、在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発

1) ACPの普及啓発

- ・「わたしの未来ノート」（令和3年 奈良市福祉政策課作成）
- ・「人生会議」リーフレット配布（令和3年 当センター作成）
- ・民生委員や地区自治会などへの普及活動（センター職員が講演）
- ・地域支え合いフォーラム2021（実施協力）

2) 在宅医療の普及啓発

- ・「在宅医療」リーフレット配布（平成31年 当センター作成）
- ・市民健康講座

4、医療・介護関係者への情報共有の支援や研修会の開催

わたしの未来ノート

～おもいをあなたに伝えたい～



—奈良市—



エンディングノート 奈良市版
令和3年4月 発行

誰でも、いつでも、い
いのちに關わる大きな病気やけがをする可能性があります。
いのちの危険が迫った状態になると、4人のうち3人が、
これからの医療やケアなどを自分で決めたり
望みを人に伝えたりすることができなくなるいわれています。

人生会議

アドバンス・ケア・プランニング(ACP)

「もしものとき」について話し合おう

決めなくていいから、
いっぱい話をしよう！

人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)とは？

「もしものとき」に備えて、あなたの大切にしていることや、どこでどのような医療やケアを望んでいるか等について、自分自身で考え、あなたの信頼する人たちと話し合い共有することを「人生会議(アドバンス・ケア・プランニング)」といいます。

これらの話し合いは、もしものときに、あなたの信頼する人が、あなたの代わりに治療やケアについて難しい決断をする場合に重要な助けとなります。

人生会議について聞きたいことや相談したいこと、また、このリーフレットについて等のお問い合わせは、奈良市在宅医療・介護連携支援センター TEL:0742-33-524までご連絡ください。

発行：令和3年8月
奈良市福祉政策課、奈良市在宅医療・介護連携支援センター

これからの医療・ケアについて話し合い、共有しましょう

STEP 01 大切なことについて考えてみましょう

STEP 02 信頼できる人は誰か考えてみましょう

STEP 03 書いてみましょう

STEP 04 話し合いましょう 伝えましょう

いつでも、繰り返し考え、話し合いましょう。

どんなことを考えたいのかな？

- ◆あなたにとって大切なことはどんなことですか？
例)家族といること、仕事を続けること、長生きすること、趣味を続けることなど
- ◆もしものとき…
- ◆詳しい経過や余命など、具体的な情報を知りたいですか？
- ◆最期のとき、「こんな医療やケアを受けたいな」「こんな状況や思いはいやだな」ということはどんなことですか？
- ◆医療やケアをどこで受けたいですか？
- ◆あなたの代わりに医療やケアについて話し合う信頼できる人はどなたですか？

なにに書いてみる？

- ◆奈良市では、「わたしの未来ノート～おもいをあなたに伝えたい～」を作成し、ご希望の方全員に、無料で配布しています。
【配布窓口】奈良市役所、各地域包括支援センター等
奈良市ホームページからもダウンロードできます。

奈良市 わたしの未来ノート 検索

いつ、だれと、どのように話し合うの？

- ◆「いつから」ということはありません。年齢や健康状態にかかわらず、まずは家族や親しい人と話してみましょう。
- ◆現在の体のこと、病気のことなど、未来のことも含めて、かかりつけ医に聞いてみましょう。
- ◆医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、介護職員など、あなたの応援団はたくさんいます。自分の思いや考えを伝えましょう。
- ◆あなたと家族や信頼できる人、医療・介護関係者と話し合ってみましょう。結論が出なくてもいいのです。お互いの意見を尊重し話し合う過程が大切です。





地域の 支え合いフォーラム 2021

人生会議 元気なうちから
『話し合い』と『つながり』づくり
～信頼できる人探し～

令和4年
3月3日(木)
14:00～16:30
【開場 13:30】

参加無料

もしものときに備えて、
「自分が大切にしていること」
「どこでどのような医療やケア
を望んでいるか」などを、
信頼する人たちと話し合い
共有する「人生会議」について
一緒に学びませんか。

申し込み締め切り
2月22日(火)まで

申し込み方法

※URLまたはQRコードから
お申込み込みください。

<https://forms.gle/bSV2bJMz8DKbtdL86>

※できるだけオンラインでの参加をお願いします。
※手話通訳が必要な方は、申し込み時にお知らせ
ください。



会場

奈良県コンベンションセンター 203会議室
(奈良市三条大路1-691-1) 定員 100名

— または —

オンライン Zoom 定員 500名

講演I

「これからの人生を考える～在宅という選択肢～」

講師 山崎 政直氏

〔奈良市在宅医療・介護連携支援センター長〕



講演II

「自分が望む医療やケアを受けるということ
～身寄りがない人の支援を考える～」

講師 佐々木 育子氏〔奈良弁護士会〕



討論会

ご講演いただいた山崎医師、佐々木弁護士に加え、奈良市地区社会福祉協議会会長の
今西会長と一緒に、「人生会議」の考え方や必要性について、またその取り組み方や疑問点
などについて話し合っていきます。

【問い合わせ】

奈良市生活支援コーディネーター

TEL:0742-34-4598

奈良市在宅医療・介護連携支援センター

TEL:0742-33-5244

＜共催＞ 奈良市、奈良市社会福祉協議会、奈良市医師会
＜実施協力＞ 奈良市生活支援コーディネーター、奈良市権利擁護センター
奈良市基幹型地域包括支援センター
奈良市認知症地域支援推進員
奈良市在宅医療・介護連携支援センター

健康講座のご案内

参加無料・申込不要

人生会議 もしものときについて話し合おう ～わたしの未来ノートを書いてみませんか～



パンフレット QR

◆日時

令和4年11月29日(火) 午後2時～3時25分
(受付:午後1時30分～)

◆講師

奈良市在宅医療・
介護連携支援センター 保健師

さとう みゆき
佐藤 美由紀 さん

◆会場

奈良市医師会館1Fホール

奈良市柏木町519-7

(メディカルなら東隣り)

交通機関：近鉄奈良駅、JR奈良駅西口より
奈良交通バス「恋の窪町行」
“柏木町”バス停下車、徒歩5分

◎ZoomによるWeb生配信予定

操作方法につきましては 奈良市医師会
ホームページの入室手順をご覧ください



新型コロナウイルス感染予防対策について 必読

- 発熱(37.5℃以上を目安とする)や体調不良のある場合は、参加をお控えください。
- 入館時にはマスクの着用をお願いいたします。
- 会場内は密を避けるため、間隔を空けてご着席いただきます。なお、満席の場合は、参加いただけない場合がございます。

主催：奈良市総合医療検査センター（メディカルなら） ☎ 0742(33)7876

1、医療・介護連携に関する情報収集、課題把握、施策の企画立案及び周知

2、在宅医療・介護連携に関する相談支援、情報提供

3、在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発

4、医療・介護関係者への情報共有の支援や研修会の開催

1) 病院・介護支援専門員合同会議

ワーキング会議(年2回)、入退院連携マニュアル運用実態調査

2) 病院地域連携室連絡協議会 (年1回)

3) 訪問看護ステーション連絡会 (月1回)

医師・訪問看護師交流会 (年1回)

4) 連携ニュースレター (当センター発行、年4回)

5) 多職種連携研修会

各圏域単位で開催 (年2~4回)、コアメンバー会議にも参加

6) MCSによる災害時模擬訓練 (年4回、多職種を対象)

第4回 医師・訪問看護師交流会

在宅医療の要となる医師と訪問看護師の緊密な連携体制構築を目指し、定期的に開催しておりました交流会も今年で4回目を迎えることとなりました。今回は、外来化学療法を中心に最近のがん治療や在宅での療養生活に関してグループワークも交えた交流会を企画いたしました。ご多忙とは存じますが、万障繰り合わせのうえ、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

日時

2022年1月29日(土) 14:00~16:00

奈良市医師会館から
Microsoft Teams配信

【お申し込み方法】 締め切り：2022年1月21日(金)

奈良市在宅医療・介護連携支援センター(奈良市医師会)のホームページ

「第4回 医師・訪問看護師交流会 参加申し込みフォーム」からお申込みください。

お申し込み後受付完了メールを1週間以内に送信いたします。またMicrosoft TeamsのURLはあらかじめ送信いたします。メールが届かない場合は、お電話(0742-33-5244)にてお問合せください。



開会の辞 14:00~14:05 奈良市医師会 会長 国分 清和 先生

情報提供 14:05~14:15

『医療支援ツールのご紹介』ノバルティス ファーマ株式会社

特別講演 14:15~15:15

座長 奈良市在宅医療・介護連携支援センター センター長
山崎 政直 先生

『最近のがん治療~外来化学療法を中心に~』

講師 奈良県総合医療センター 血液・腫瘍内科 副部長
外来化学治療室長
小林 真也 先生

グループワーク 15:15~15:55

閉会の辞 15:55~16:00 山崎 政直 先生

※日医生涯教育講座：CC80在宅医療(1単位)、CC81終末期のケア(1単位)を取得可能です。



講演会参加にあたりご提供いただいた個人情報は本セミナー参加登録の他、今後の先生への同種企画のご案内を含む情報の提供、その他の弊社ウェブサイト上で公表しております目的(https://www.novartis.co.jp/privacy-policy)で利用いたします。紛失・漏えい等のないよう適切な環境のもとで厳重に管理します。

共催：奈良市医師会 ノバルティス ファーマ株式会社

第5回 医師・訪問看護師交流会

日時

2022年12月3日(土)
14:00~16:00

場所

会場はオンライン
Zoomになりました

在宅医療の要となる医師と訪問看護師の連携を深めることを目的に、定期的に開催しておりました交流会も今年で5回目を迎えることとなりました。近年病院に通院しながら、診療所を併診されている方や在宅で訪問診療や看護を受ける方が増加しています。そこで今回は病院医師やスタッフにもご参加いただき、病院と診療所、在宅との連携をテーマに交流を深めたく企画いたしました。年末のお忙しい時期ではございますが、在宅をされている先生だけでなく、現在されていない先生におかれましても日々の診療の中で病院との連携の必要性を感じることもあるかと思っておりますので、この機会に是非ご参加ください。

【開会の辞】 14:00~14:05 奈良市医師会 会長 国分 清和 先生

【講演】 14:05~15:10

座長：奈良市在宅医療・介護連携支援センター長 山崎 政直 先生

① 「当院における病診連携」

講師：市立奈良病院 副院長 兼 患者支援センター長

堀井 学 先生

「事例報告」市立奈良病院 患者支援センター MSW

岡崎 美和子 様

② 「肺がんの薬物治療について」

講師：奈良県総合医療センター 呼吸器内科部長

伊藤 武文 先生

【意見交換】 15:10~15:55

進行：奈良市訪問看護ステーション連絡会世話人

【閉会の辞】 15:55~16:00 奈良県総合医療センター 院長 松山 武 先生



※日医生涯教育講座：CC80在宅医療(1単位)CC45呼吸困難(1単位)を取得可能です。

【会場案内】



(奈良市東寺林町38 TEL:0742-27-1151)

- JR奈良駅(東口)から東へ徒歩15分
- 近鉄奈良駅から南東へ徒歩12分
- できるだけ公共交通機関をご利用ください。地下駐車場は20台です。満車の場合は近隣の駐車場の利用をお願いします。

※状況によりオンラインZoomに変更する場合がございます。変更の場合はメールにてお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

奈良市在宅医療・介護連携支援センター

TEL:0742-33-5244 FAX:0742-33-5230

定員
80名

1、医療・介護連携に関する情報収集、課題把握、施策の企画立案及び周知

2、在宅医療・介護連携に関する相談支援、情報提供

3、在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発

4、医療・介護関係者への情報共有の支援や研修会の開催

1) 病院・介護支援専門員合同会議

ワーキング会議(年2回)、入退院連携マニュアル運用実態調査

2) 病院地域連携室連絡協議会 (年1回)

3) 訪問看護ステーション連絡会 (月1回)

医師・訪問看護師交流会 (年1回)

4) 連携ニュースレター (当センター発行、年4回)

5) 多職種連携研修会

各圏域単位で開催 (年2~4回)、コアメンバー会議にも参加

6) MCSによる災害時模擬訓練 (年4回、多職種を対象)

皆さまこんにちは！ 新型コロナの位置付けが5類感染症になり、街中では観光客も増え、マスクを外している人も多くなりました。医療・介護の現場では引き続き感染対策が求められておりますが、コロナ禍を経て改めて連携の必要性を感じています。今回は、当センターが作成した「奈良市在宅つながりMAP」と、病院、包括支援センターを紹介します。

「奈良市在宅つながりMAP」をご活用ください

医療や介護が必要になっても、「住み慣れた我が家でいつまでも過ごしたい」という思いに寄り添うために、支援する側のネットワークはとても大切です。当センターでは「近くで訪問診療している診療所を教えてください」「入れ歯が合わないので訪問歯科に相談したい」「24時間対応の訪問看護ステーションと連携したい」等のご相談を多くいただきます。そこで在宅医療・介護に携わっている事業所の協力をいただき、「奈良市在宅つながりMAP」を作成しました。患者・利用者さま等から相談を受けた際に医療や介護の専門職の皆さまの情報として、また円滑な連携を図る一助としてご活用ください。



奈良市在宅つながりマップ一覧

医療機関名	住所 電話番号	日中の在宅訪問 診療可否	中心診療施設 連携可否	人工透析施設 連携可否	癌の発生率 低い	看取り 可否
1 ○○クリニック		○	○	○	○	○
2 △△診療所		○	○	○	○	○
3 □□病院		○	○	○	○	○



近くどんな事業所があるか
地図で確認できる♪



対応可能な項目(日常の療養支援、褥瘡処置、看取り等)が一覧になっている♪

掲載内容

- ☆ 往診・訪問診療可能な医療機関
(連絡可能な曜日・時間、可能な処置や状態等)
- ☆ 往診・訪問診療可能な歯科診療所
(連絡可能な曜日・時間)
- ☆ 病院(往診・訪問診療患者の入院相談窓口)
- ☆ 奈良市薬剤師会・在宅薬局支援センター
- ☆ 訪問看護ステーション(対応可能な看護処置等)
- ☆ 地域包括支援センター

※ このマップは市民の方にお渡しするものではなく、専門職の方に活用して頂くものとして作成しています。
※ マップには同意を頂いている医療機関・事業所のみを掲載しています。
※ マップをご入用の方は当センター(0742-33-5244)までお問い合わせください。



7月10日(月) MCSによる第7回災害模擬訓練を実施します

奈良県いっせいで地震行動訓練(NARA SHAKE OUT)と同日に行います。

← NARA SHAKE OUTについては、こちらをごらんください。

介護事業所のBCP(感染症や災害が発生しても必要な介護サービスが安定的、継続的に提供されること・持続可能な事業計画)策定の3年間の経過措置期間が終わり、2024年4月から義務化になります。災害時、電話が繋がらなくてもMCSは繋がった！という事例がありました。情報共有の一つのツールとして「奈良あんしんネット」に是非ご登録ください。詳細は当センターまでお問い合わせください。



是非ご参加
ください!

★ 連携ニュースレターは、当センターHPお知らせコーナーに掲載しています。 <http://nara.med.or.jp/nara-city/>

病院紹介コーナー

国立病院機構
奈良医療センター



国立病院機構奈良医療センターは、「面倒見のいい病院」として患者さまに寄り添った医療の提供を目指しています。当院では内科・呼吸器内科、脳神経内科、小児科・小児神経科、外科、整形外科、脳神経外科、ペインクリニック外科、耳鼻咽喉科の診療を行っています。

地域医療連携室は現在3つの部門で構成されており、それぞれの役割を紹介いたします。

★地域医療連携

地域の病院・診療所からご紹介いただいた各診療科の診察予約、他院からの転院調整を行っています。救急患者が迅速・安全に受診・入院ができるよう、受け入れ窓口としての機能も持っています。また、退院後の生活に向けて退院支援看護師・メディカルソーシャルワーカーが多職種と連携し、必要なケアが自宅や地域で受けられるように支援します。ご自宅への退院が難しい場合は、患者さまの状態に合わせて転院や施設への入所調整も行っています。

★入院支援センター

患者さまが安心して入院していただけるように、入院前に地域医療連携室のスタッフが患者さま・家族と面談を行います。入院後の治療や入院生活に必要な説明を行うと共に、患者さまに合わせてお話を聞かせていただき入院の支援を行っています。



★訪問看護

昨年度より訪問看護を開始しました。当院の訪問看護担当看護師が医師の指示のもと患者さまの状態に合わせてご自宅に訪問し、ケアを提供しています。

信頼される病院を目指し、スタッフ一丸となって患者さまの目線で業務に邁進します。今後ともよろしくお願いいたします。

包括紹介コーナー

奈良市二名地域包括支援センター



奈良市西部地域は大阪府のベッドタウンとしての機能をもった街であり、二名地域包括支援センターは、奈良市西部の学園前駅北側、富雄駅北側を中心とした鶴舞・青和・二名・富雄北小学校区を担当しております。一戸建てとマンションが混在して形成されており、高齢化率は奈良市平均に比べて少し低く、若い世代の方々もマンションを中心にお住まいです。また、UR都市機構の大規模団地を中心に一人暮らし高齢者が多くお住まいであることも特色となっています。

当センターでは、昨年度より多様化する相談に対応するため、障がい分野や児童分野の専門機関と新たにネットワークを構築し、多課題ケースに対してスムーズに対応できる仕組みを構築しました。

また、介護予防分野においては地域の皆さまと協働し、あらたな自主グループ立ち上げを積極的に行っております。認知症関連においては、ご本人の意向にそった取り組みを地域のケアマネジャーさんと共に実現するべく取り組んでおります。そして、認知症サポーター養成講座を受講された方向けにステップアップ講座を開催し、実際に認知症の方への支援ボランティアとして活躍できるよう取り組んでおります。

これからも多様化するご相談に対して適切にスムーズなご支援ができるよう引き続き取り組んでまいります。



1、医療・介護連携に関する情報収集、課題把握、施策の企画立案及び周知

2、在宅医療・介護連携に関する相談支援、情報提供

3、在宅医療・介護に関する地域住民への普及啓発

4、医療・介護関係者への情報共有の支援や研修会の開催

1) 病院・介護支援専門員合同会議

ワーキング会議(年2回)、入退院連携マニュアル運用実態調査

2) 病院地域連携室連絡協議会 (年1回)

3) 訪問看護ステーション連絡会 (月1回)

医師・訪問看護師交流会 (年1回)

4) 連携ニュースレター (当センター発行、年4回)

5) 多職種連携研修会

各圏域単位で開催 (年2~4回)、コアメンバー会議にも参加

6) MCSによる災害時模擬訓練 (年4回、多職種を対象)

今まで取り組んだ事業

- 1、 在宅医療スタートブック導入編の発行（2019）
- 2、 小児在宅医療推進協議会（2020）
- 3、 奈良市自宅待機者フォローアップセンターの開設（2021）
- 4、 在宅サポートマップの発行（2023）
 - ・
 - ・
 - ・



在宅医療

スタートブック

2019年7月



一般社団法人 奈良市医師会
(奈良市在宅医療・介護連携支援センター)

目次

スタートブックの発行にあたって	01
01 奈良市の現状と在宅医療の必要性	02
02 まずは自院に通院中の患者さんから始めましょう	05
03 在宅医療に関する制度等	07
04 保険請求の事例集	13
05 インタビュー	
〈在宅医療専門診療所から〉	18
〈一般診療所から〉	21
〈病院から〉	28
06 専門性に特化した在宅医療	
(1)在宅緩和ケア	33
(2)難病と在宅医療	36
(3)認知症と在宅医療	37
(4)小児と在宅医療	38
07 多職種との連携	
(1)歯科診療所	40
(2)保険薬局	41
(3)訪問看護ステーション	42
(4)居宅介護支援事業所	43
(5)地域包括支援センター	44
(6)認知症疾患医療センター	46
(7)認知症初期集中支援チーム	48
(8)認知症地域支援推進員	50
(9)在宅医療・介護連携支援センター	51
08 奈良あんしんネット	54
Q&A	57
様式集(参考)	62
その他参考資料	74
おわりに	81

小児在宅医療推進協議会（奈良県からの委託事業）

- 目的
- ・ 最近増えつつある小児在宅医療的ケア児を持つ家族の負担を軽減
 - ・ 医療的ケア児の成人への移行に対応

小児在宅医照会制度



医療的ケア児の病院主治医の依頼により、往診可能な小児科医、内科医を、対応可能疾患や年齢、住所などを考慮しマッチングする

2022年3月より開始、現在までに 6名実施

COVID-19に対する当センターの取り組み



2021年8～9月第5波の状況

- 比較的早期に重症化する症例が多い
- 若年層の重症化率の上昇

↓

宿泊療養施設や入院できない陽性者が急増

第5波ピーク時、奈良市で約150名の自宅待機者

→ 約 70名 宿泊療養入所待ち
約 80名 入所、入院拒否者

↓

保健所の事務業務、疫学調査、健康調査が追い付かず

(人)

900

COVID-19 奈良市新規感染者数



奈良市自宅待機者フォローアップセンター

奈良市にはファストドクターなど往診に対応する医療機関が少なく、自宅待機のコロナ陽性患者に対応できる医療機関がほとんどない



電話診察、必要であれば更に往診までできる医師を輪番制に配置当センターが事務局として運営することを奈良市に提案



奈良市と協議を重ね、2021年9月契約、2022年1月より運用開始

コロナ陽性患者に保健所看護師が聞き取り

医師電話診療希望者

医師電話診非希望者

医師が電話診察

保健所看護師が健康観察

診察時、状態変化がある場合

診察後、状態変化があった場合

状態変化ない場合

継続または終了

患者が保健所へ連絡

医師の電話診察を必要と判断した場合、
電話担当医師へ連絡、再び医師が電話診察

電話担当医師が訪問診療が必要と判断した場合、往診医師や往診看護師へ連絡

電話担当医師



電話にて病状確認、
必要であれば薬を
処方(約束処方内)
必要であれば往診
医へつなぐ

往診担当医師



電話医師の依頼で
PPEを着て往診
入院が必要か判断、
入院に時間がかかる
なら酸素手配も

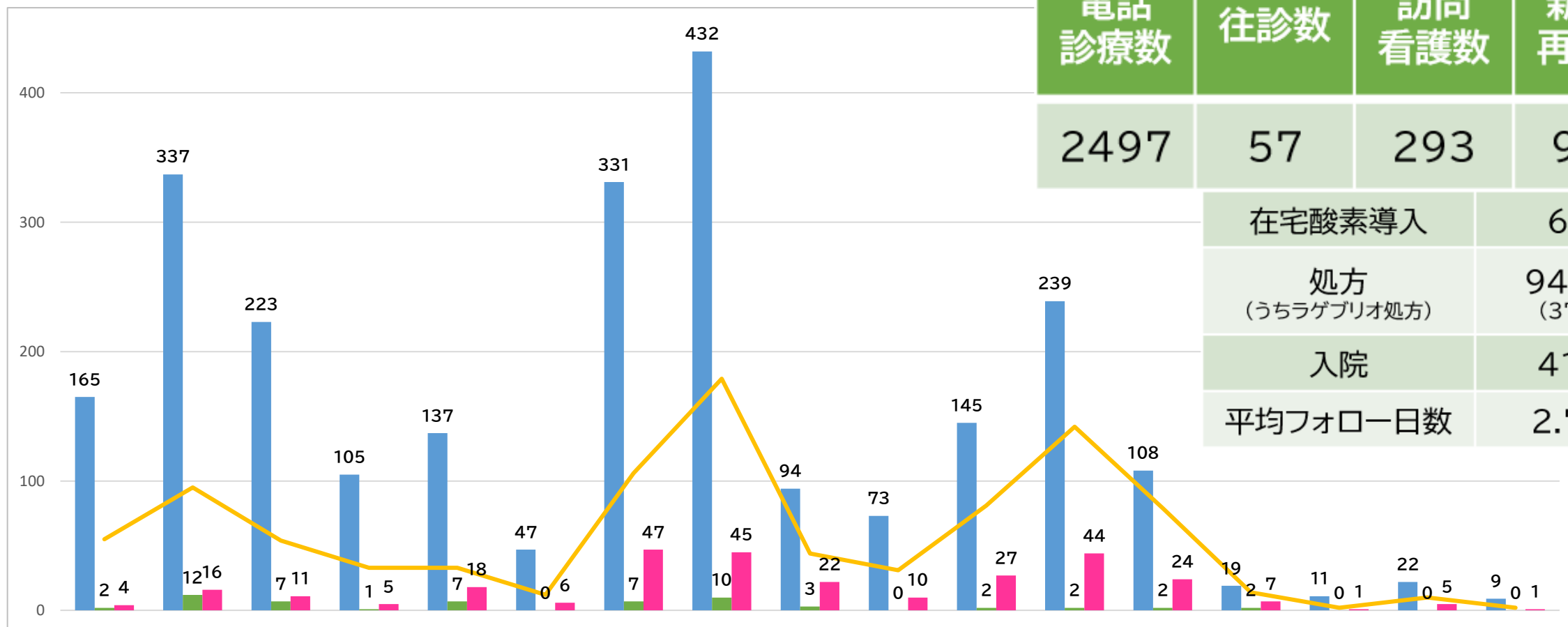
訪問看護師



医師が希望すれば
往診に帯同
土日祝は薬の配達
(平日は薬局が
0410対応で配達)

自宅待機者フォローアップセンター実績

(2022.1月~2023.5月)



電話診療数	往診数	訪問看護数	新規・再依頼
2497	57	293	972
在宅酸素導入			6件
処方 (うちラゲプリオ処方)			943件 (37件)
入院			41件
平均フォロー日数			2.7日

■ 電話診療数 ■ 往診数 ■ 訪問看護数 — 新規依頼

今年度 新たに取り組む事業

1、 在宅医療スタートブック実践編(仮)の発行

2019年に発行したスタートブック(導入編)のステップアップ編

2、 看取りの支援体制の可能性について

3、 在宅栄養指導の可能性について

看取りの支援体制(案)

- 目的** 開業医が在宅医療により抱える負担軽減
→ 在宅医療の拡充へ
- 方法** 主治医が不在時、当番医が代わって看取る
(病院で当直医が看取りを行うイメージ)
- 対象** 主治医が事前登録を行った患者
土日祝、年末年始、夏季休暇時、GWなど



現在、有志による小グループで、患者情報の伝達方法、金銭の支払い方法、主治医の登録料、当番医の待機料を検討中

在宅栄養指導の可能性

- 目的** **在宅患者の健康寿命増進**
(奈良市には在宅栄養指導を行える管理栄養士がほとんどいない)
- 方法** ① **メディカル、当センターが、主治医と管理栄養士をつなぐ**
 → 現在、手順などを検討中
- ② **管理栄養士の発掘、教育**

今年度中に数例のデモを行い、来年度からの運用を予定

今後 新たに取り組みたい事業

- 1、 ACPの市民に対する普及啓発活動
- 2、 病院主治医とクリニック主治医、在宅医の診療連携
- 3、 在宅患者の健康寿命増進
在宅栄養指導、在宅リハビリの見直しなど

